

表 11 2014年末わが国の慢性透析療法の現況(所在県別)栃木県
09 栃木県

透析施設の現況(施設調査票より)	
施設数	75
ベッドサイドコンソール	2,486
同時透析	2,452
最大収容	7,709

透析患者数(施設調査票より)						
	通院		入院		合計	
昼間	4,736	(85.67)	431	(99.54)	5,167	(86.68)
夜間	704	(12.74)	0	(0.00)	704	(11.81)
在宅	2	(0.04)	0	(0.00)	2	(0.03)
腹膜透析	86	(1.56)	2	(0.46)	88	(1.48)
合計	5,528	(100.00)	433	(100.00)	5,961	(100.00)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

新規導入、死亡患者数(施設調査票より)	
導入患者	734
死亡患者	620

腹膜透析に関する患者数(施設調査票より)	
HD、HDF等とPDを併用している患者数	13
腹膜カテーテルを残している洗浄患者など	2
腹膜透析新規導入、年内脱落患者数	4

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy
2014年末調査

透析従事者数(施設調査票より)							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	83	749	245	14	0	209	1,300
兼務	232	50	57	64	22	52	477
合計	315	799	302	78	22	261	1,777

透析歴別人数(患者調査票より)									
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計
2年未満	905	(23.68)	392	(19.95)	1,297	(22.41)	0	()	1,297 (22.41)
2年～	1,033	(27.03)	477	(24.27)	1,510	(26.09)	0	()	1,510 (26.09)
5年～	900	(23.55)	472	(24.02)	1,372	(23.71)	0	()	1,372 (23.71)
10年～	533	(13.95)	271	(13.79)	804	(13.89)	0	()	804 (13.89)
15年～	203	(5.31)	157	(7.99)	360	(6.22)	0	()	360 (6.22)
20年～	121	(3.17)	100	(5.09)	221	(3.82)	0	()	221 (3.82)
25年～	67	(1.75)	49	(2.49)	116	(2.00)	0	()	116 (2.00)
30年～	38	(0.99)	30	(1.53)	68	(1.18)	0	()	68 (1.18)
35年～	18	(0.47)	13	(0.66)	31	(0.54)	0	()	31 (0.54)
40年～	4	(0.10)	4	(0.20)	8	(0.14)	0	()	8 (0.14)
合計	3,822	(100.00)	1,965	(100.00)	5,787	(100.00)	0	()	5,787 (100.00)
不明	0		0		0		0		0
記載なし	0		0		0		0		0
総計	3,822		1,965		5,787		0		5,787
平均	6.72		8.02		7.16		0		7.16
標準偏差	7.02		7.89		7.35		0		7.35

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴(患者調査表より)	
最長透析歴	41年9ヶ月